

秋の感謝祭 年金友の会「相幸会」開催

金融課は11月30日、年金友の会「相幸会」を開催し、会員62名が参加した。

午前中は弘前市環境整備センターで、ゴミの分解の工程や、処理する為の様々な機械を見学した。今回、1時間に2回しか動かないクレーンが動く様子を丁度見る事が出来、「こんなに大きい機械が使われているんだ。」と驚く声と共に笑顔で感想を述べていた。



大きなクレーンの動きに興味津津な会員

その後、「アップルランド」へ移動し、相幸会が開かれた。

開会の挨拶では大場組合長が「会員の皆さんにはもつと長生きしてもらいこの年金友の会をこれからも楽しんでいただきたい。」と会場を和ませた。

次に大沢昭夫会長から「今年一年大きな災害もなく、皆さんの仕事もはかどったでしょう。今日はその疲れを吹きとばして下さい。」と会員の日頃の疲れを気遣った。

会員は食事と、お酒を楽しみながら普段あまり会えない顔ぶれと会話を弾ませていた。



開会の挨拶をする大沢会長

金融課職員も普段からお世話になっている会員の皆さんにお酒を注ぎながら世間話などをして交流を深めていた。





会場に入ると会員の側を練り歩く

会員の皆さんの気分も大分気持ちよくなってきた頃、舞扇流若獅子組によるショーが行われ、会場の盛り上がりが高潮に達した。会員らのほとんどは舞扇を見たことが無いと言いうことで、終始綺麗な舞に熱中して見ていた。



子役の演舞に会員はほっこり笑顔



笑いありの綺麗な舞に集中して見入る会員



閉会の挨拶をする三上専務

ショーを見た後は少し温泉を楽しむ時間も設けられ、名物「りんご風呂」等を楽しむ会員もいた。次に用意された余興は当JA金融課によるゲームで、職員が突然落とす棒をいかに早くつかむことが出来るかというゲームで、各テーブルで代表2名が商品を賭けて競い合った。

参加したほとんどがキャッチすることが出来、見ていた方も終始楽しそうな様子であった。

最後に閉会の挨拶として、三上隆基専務理事が「来年の春にも長慶閣にて年金友の会を予定しておりますので、金融課職員はじめ一同お待ちしておりますので多数のご参加おまちしております。」と次の開催に期待を寄せていた。



見事入賞で商品ゲット



素早い反応で見事一位



会場は笑いで包まれた